



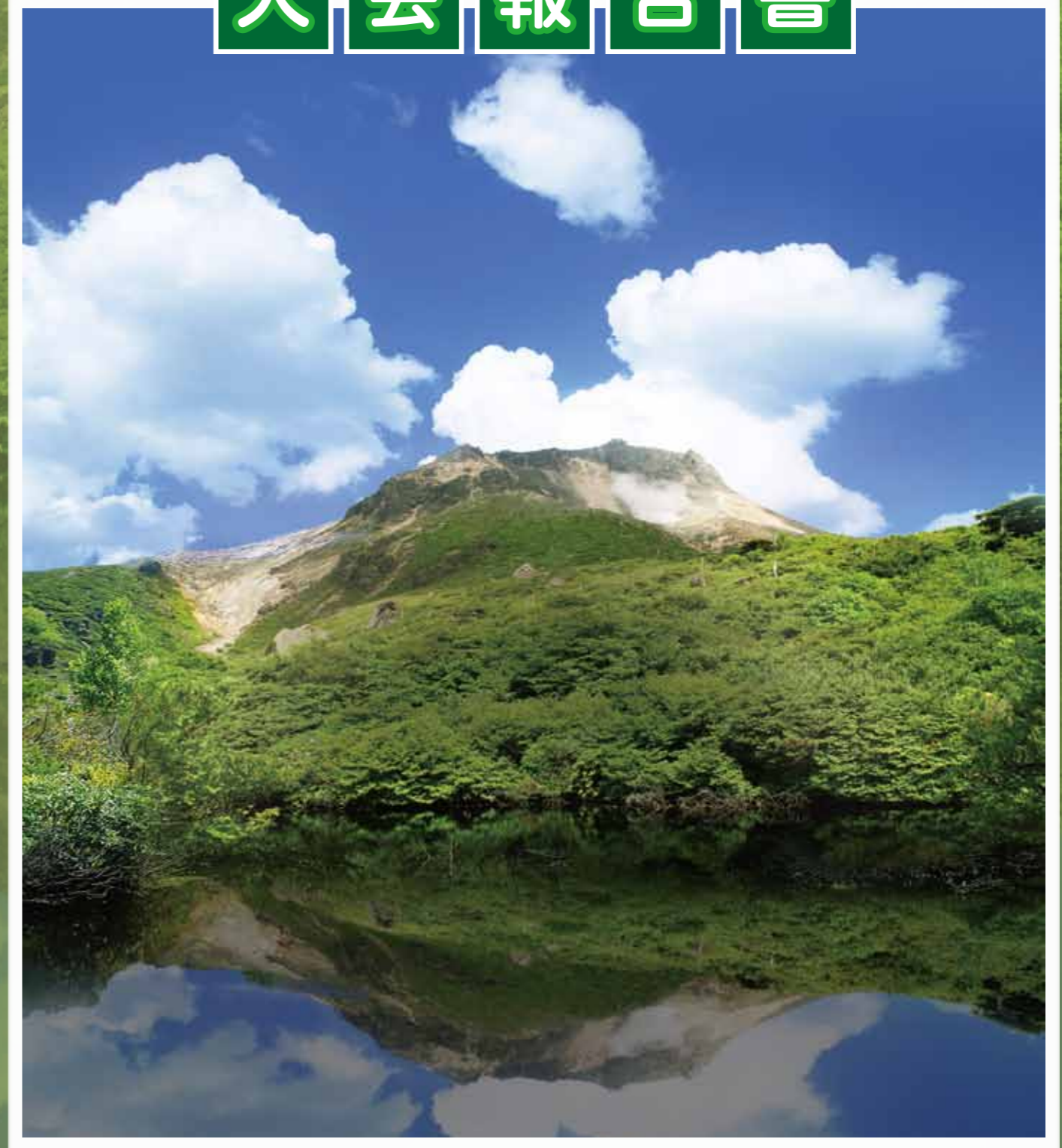
第2回「山の日」記念全国大会 in 那須 2017



山と共に
～人と自然がつながる社会へ～

第2回「山の日」記念全国大会

大会報告書



大会報告書

ごあいさつ	1
大会の概要	2
1 大会の名称 2 開催日程 3 開催地 4 行事概要	2
5 開催場所	3
6 推進体制 7 大会理念	4
8 大会の目標	5
9 大会のテーマ及びロゴマーク	6
第1章 式典行事等の記録	
1. レセプション(8月10日)	8
【1】概要	8
【2】招待者名簿	9
【3】会場図	10
【4】メニュー	11
【5】木遣歌・時庭の神楽・千枚梵天・記念品	12
2. 記念式典(8月11日)	13
【1】概要	13
【2】プログラム	14
【3】式典前アトラクション	15
【4】郷土芸能「白面金毛九尾狐太鼓」【5】登壇者紹介	16
【6】開会あいさつ 衛藤征士郎 超党派「山の日」議員連盟会長	17
【7】主催者あいさつ 福田富一 栃木県知事	18
【8】歓迎あいさつ 高久 勝 那須町長	19
【9】来賓あいさつ 中川雅治 環境大臣	20
【10】メインアトラクション	21
【11】演技	22
【12】フィナーレ	23
【13】リレーセレモニー	24
【14】エピソード	26
【15】子どもたちからのメッセージ	27
【16】山鐘「11点鐘」	28
【17】座席表	29
3. シンポジウム(8月11日)	30
4. 歓迎フェスティバル(8月11日)	34
【1】概要	34
【2】会場図	35
【3】ステージプログラム	36
5. 連携イベント	37
【1】連携イベント実施マップ	37
【2】4～11月実施イベント一覧	38
【3】連携イベント記録	43
6. 制作物一覧	45

第2章 資料	
1. 総務	49
【1】開催準備経過概要	49
【2】大会実行委員会の設立と運営	50
【3】動員体制	51
【4】服装【5】大会招待	54
2. 財務	55
【1】予算の編成及び執行	55
【2】協賛金等募集	56
3. 広報・報道	57
4. 宿泊・輸送	59
5. 要綱・会則・規則等	61
実行委員会規約	61
事務局規程	63
「山の日」会計規程	69
6. 実行委員会・運営委員会名簿	71
7. 出演等協力団体	73



第2回「山の日」記念全国大会 実行委員会会長

栃木県知事 福田 富一

2017年8月11日に、第2回「山の日」記念全国大会を本県那須町で開催いたしました。
「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という山の日意義の理解促進を図ることはもとより、本大会は、山の事故を防ぎ、自然災害に備えることを念頭に置くとともに、山の恵みに感謝し、豊かな自然を次の世代に引き継いでいくという思いを多くの皆様と共有する大会となりました。

大会当日は、記念式典、歓迎フェスティバルへ、県内外から併せて約1万人にのぼる多くの皆様に足をお運びいただき、盛大に大会を開催することができました。

さらに、2017年4月から同年11月にかけて県内各市町において自然体験や健康づくり活動など、89もの参加体験型の連携イベントを実施したところ、約6万人の皆様にご参加いただいたところです。

本大会では「五感で満喫、とちぎの山」の大会コンセプトのもと、「那須町文化センター」で行われた記念式典では、映像や歌、地元の小中学生によるメッセージなどにより、栃木の魅力などを十分に発信するとともに、続いて行われたシンポジウムでは、登山の楽しさや山の安全、森林や水などをテーマとした熱心な討論が行われました。

また、式典会場の隣接地「余笹川ふれあい公園」で行われた歓迎フェスティバルでは、ステージでトークショーや地元の皆様によるアルプホルンの演奏などが行われたほか、来場者の皆様に栃木の食をはじめ、ツリークライミングやカヌーの体験などを楽しんでいただきました。

御参加いただいた県内外の皆様にとりまして、本大会が、魅力あふれる栃木の山々に親しみ、栃木の素晴らしさを見つめ直すきっかけとなれば、これ以上の喜びはありません。

結びに、本大会の開催により「山の日」の意義が更に広く普及することを願うとともに、本大会及び各連携イベントの開催に当たり御尽力をいただいた皆様に心から感謝を申し上げます。

大会の概要

1 大会の名称

第2回「山の日」記念全国大会 in 那須 2017

2 開催日程

平成29年8月10日(木)から11日(金・祝)までの2日間
 ※連携イベントは8月11日を中心とする夏休み期間をメインに春季から秋季にかけて実施

3 開催地

栃木県那須町
 ※連携イベントは県内各地で開催

4 行事概要

日時		行事概要	場所	参加者数
8月10日 (木)	16:30~ 17:30	レセプション	エピナール那須	約140名
8月11日 (金・祝)	9:15~ 11:00	記念式典	那須町 文化センター	約900名
	11:10~ 12:15	シンポジウム	那須町 文化センター	
	11:00~ 18:30	歓迎フェスティバル	余笹川 ふれあい公園	約8,000名
春季から 秋季までの期間 (8月11日を中心に 夏休み期間をメイン)		連携イベント (自然体験、健康づくり 活動など、参加・体験型 イベント開催)	県内25市町で 計89件の イベントを開催	全体で 60,000名以上が 参加

5 開催場所



6 推進体制

主催者 第2回「山の日」記念全国大会実行委員会(平成28年10月28日設立)

● 特別職	名誉顧問	谷垣 禎一 ((一財)全国山の日協議会会長)
	顧問	衛藤征士郎 (超党派「山の日」議員連盟会長) 安藤 宏基 ((一財)全国山の日協議会副会長)

● 構成員	会長	福田 富一 (栃木県知事)
	副会長	高久 勝 (那須町長) 小林 幹夫 (栃木県議会議長) 松沢 哲郎 ((一財)全国山の日協議会副会長) 浅香 達夫 (栃木県環境森林部長)

委員	警察庁、消防庁、文部科学省、スポーツ庁、林野庁、国土交通省、 観光庁、環境省、一般財団法人全国山の日協議会、栃木県市長会、 栃木県町村会、栃木県「山の日」協議会、栃木県森林組合連合会、 公益財団法人栃木県観光物産協会、一般社団法人那須町観光協会、 社会福祉法人とちぎ健康福祉協会、NPO法人栃木県ウォーキング協会、 栃木県農業協同組合中央会、株式会社下野新聞社
----	---

7 大会理念

我が国は、国土の約7割を山地が占める「山の国」です。

山は、命の源となる水を生み、森林や田畑を潤し、海を育てます。そしてまた、新鮮な大気が作られ再び雨となって山にもたらすといった、自然のサイクルの根幹を担っています。古来より、山は畏れと敬意を持って尊ばれる存在であると同時に、人間社会にとって恩恵の源として存在しており、これら山の恩恵は、次代を担う子どもたちに着実に引き継いで行かなければなりません。

そこで、本年8月に本県那須町で開催する第2回「山の日」記念全国大会では、「山の日」の意義である『山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する』ことへの理解促進はもとより、山の事故や自然災害への対応、美しく豊かな自然を守り、次の世代に引き継ぐことの大切さについて広く浸透を図ります。

8 大会の目標

1 全国大会のテーマ
「山と共に～人と自然がつながる社会へ～」を实践する大会

山と共に生きていくため、山に関する歴史や文化の継承、自然体験の機会の創出、環境保全、観光振興、健康増進、山岳遭難、山の事故や自然災害への対応など様々な課題の解決に向けた施策の展開につなげ、地域の活性化を図る大会とします。

2 「とちぎらしさ」を実感できる参加・体験型の大会

本格的な登山から、身近な里山における自然体験や健康づくり等の場まで、幅広い分野で多くの方々に親しまれている、本県の山々の特徴を最大限に活かして「とちぎらしさ」を存分に実感できる参加・体験型の大会にします。

3 山の魅力を満喫し、山の恵みに感謝する大会

イベントにおける様々な体験を通じて、「とちぎ」の山々が育んだ美しい自然や豊かな食の恵み、さらには特色ある温泉などの魅力を満喫していただくことにより、山の恩恵に感謝し、山を守り育てていく大切さを広く伝える大会にします。

4 プレデスティネーションキャンペーン等と連携し、開催効果を広く波及させる大会

8月11日の「山の日」を中心とする夏休み期間をメインに、春季から秋季にかけて県内各地で開催される「山の日」に関連したイベントと連携するとともに、プレデスティネーションキャンペーンや国立公園満喫プロジェクトとの相乗効果を発揮させ、「とちぎ」の魅力を全国に発信することで観光誘客を図り、その効果を広く普及させる大会にします。

五感で満喫「とちぎの山」を
大会コンセプトとして大会を展開

大会の概要

9 大会テーマ及びロゴマーク

1 大会テーマ

山と共に ～人と自然がつながる社会へ～

2 大会ロゴマーク

- 「山の日記念全国大会」の統一ロゴマーク



山と共に
～人と自然がつながる社会へ～

- 「第2回「山の日」記念全国大会」用のロゴマーク

第2回大会の象徴として「とちぎ」らしさを表現したロゴマークです。



【作成趣旨】

「山」のシルエットには私たちの生活に欠かせない、緑や大地、川（水）がデザインされています。また、本県を代表する農産物である「いちご」、県獣「カモシカ」と今も那須の地に伝わる「白面金毛九尾の狐」伝説の狐の尻尾をモチーフに採り入れ、「とちぎ」ならではのデザインとなっています。

第 1 章

MOUNTAIN DAY

式典行事等の記録

1.レセプション (8月10日)

【1】概要

1 レセプション

地元那須町をはじめとして、「とちぎ」の山々が育んだ盛り豊かな食の恵みを満喫していただけるよう、本県ならではの心のこもったおもてなしで招待者をお迎えしました。



- 開催日時 平成29年8月10日(木)
午後5時30分から午後6時30分まで
- 会場 ホテルエピナール那須 2階 葵の間
- 出席者 招待者約140名

2 プログラム

プログラム	概要
オープニング	とびきやり 鳶木遺保存会による「木遣歌」の披露
開宴の言葉	実行委員会顧問 超党派「山の日」議員連盟会長 衆議院議員 衛藤 征士郎
主催者挨拶	実行委員会会長 栃木県知事 福田 富一
歓迎の言葉	実行委員会副会長 那須町長 高久 勝
来賓御紹介	国会議員
次期開催県挨拶	鳥取県知事 平井 伸治
御歓談	栃木県交響楽団による演奏
地元伝統芸能	とぎにわかぐら 那須町時庭神楽保存会による「時庭の神楽」を披露
御歓談	栃木県交響楽団による演奏
閉宴の言葉	実行委員会副会長 栃木県議会議長 小林 幹夫



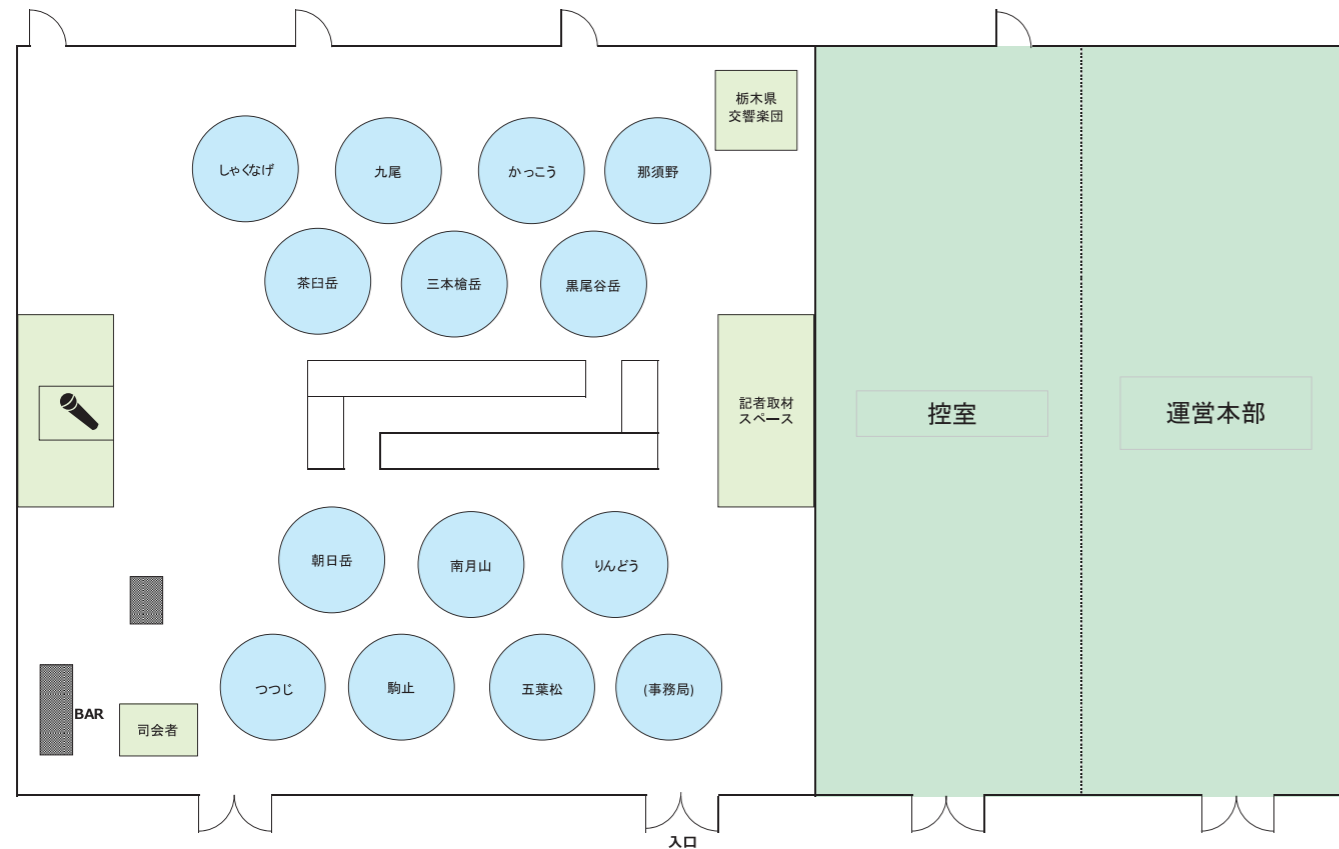
【2】招待者名簿

所属等	お名前	席名	所属等	お名前	席名	
環境大臣	中川 雅治	茶臼岳	警察庁生活安全局地域課長	飯利 雄彦	つつじ	
衆議院議員	衛藤 征士郎		消防庁国民保護・防災部長	杉本 達治		
林野庁長官	沖 修司		文部科学省文部科学大臣官房審議官	神山 修		
栃木県知事	福田 富一		スポーツ庁審議官	藤江 陽子		
栃木県議会議長	小林 幹夫		林野庁森林利用課山村振興・緑化推進室長	木下 仁		
那須町長	高久 勝		林野庁関東森林管理局長	漆原 勝彦		
栃木県環境森林部長	浅香 達夫		林野庁関東森林管理局森林整備部長	石橋 岳志		
全国山の日協議会副会長	松沢 哲部		国土交通省砂防部長	今井 一之		
鳥取県知事	平井 伸治		国土交通省関東地方整備局日光砂防事務所長	三輪 賢志		
ミス日本みどりの女神	野中 葵		観光庁観光地域振興部長	米村 猛		
栃木県副知事	赤松 俊彦		森林セラビーズサエティ前理事長	今井 通子		九尾
栃木県議会議長	池田 忠		(一財)自然公園財団上高地支部所長	加藤 鏡次郎		
栃木県議会議員	木村 好文	(株)山と溪谷社代表取締役社長	川崎 深雪			
女優	小林 綾子	岩手県立大学教授	渋谷 晃太郎			
栃木県理事	須藤 揮一郎	(株)モンベル常務取締役	竹山 史朗			
衆議院議員	務台 俊介	(一社)栃木県建設業協会副会長	玉木 茂			
衆議院議員	築 和生	元「山の日」制定協議会代表幹事	成川 隆彦			
栃木県議会議員	吉羽 茂	(株)山と溪谷社執行役員山岳出版部長	秋原 浩司			
参議院議員	渡辺 美知太郎	(一社)山と水と緑の会	尾藤 蒼之			
全国山の日協議会理事長	磯野 剛太	日本大学教授	水嶋 一雄			
日本山岳・スポーツクライミング協会副会長	尾形 好雄	日本山岳・スポーツクライミング協会会長	八木原 園明			
栃木県山の日協議会会長(栃木県山岳連盟会長)	喜内 敏夫	清水建設(株)関東支店栃木営業所長	渡邊 定夫	駒止		
那須塩原市長	君島 寛	那須町自治会連合会副会長	秋元 庄一			
(公社)日本山岳協会会長	小林 政志	黒磯観光協会会長	萩原 正寿			
栃木県山岳連盟名誉会長	坂口 三郎	那須町議会議員	小野 曜子			
鳥取県生活環境部長	酒嶋 優	環境省関東地方環境事務所長	笠井 俊彦			
米子市市民権部長	長井 仁志	那須町自治会連合会会長	川崎 康生			
日本ロングトレイル協会代表理事	中村 達	塩原温泉観光協会会長	君島 将介			
鳥取県西部総合事務所長	中山 貴雄	那須町自治会連合会副会長	鈴木 友実			
塩谷町長	見形 和久	林野庁関東森林管理局塩原森林管理署長	高木 鉄哉			
大山町観光商工課長	持田 隆昌	那須町議会議員	高久 一伸			
栃木県議会議員	阿部 寿一	那須町教育長	平久井 好一			
那須町議会議長	大島 光行	那須町副町長	山田 正美			
栃木県議会議員	齋藤 剛郎	アラスカ大学フェアバンクス校顧問	糸永 正之	かつこう		
那須町議会産業建設観光委員長	齊藤 隆剛	日本勤労者山岳連盟理事長	浦添 嘉徳			
栃木県議会議員	関谷 暢之	タタ・コンサルタンシー・サービシズ・ジャパン前会長	梶 正彦			
栃木県議会議員	相馬 政二	日本山岳ガイド協会事務局長	金井 博子			
那須町議会産業建設観光副委員長	茅野 健	イワタニ・プリズム(株)取締役	加茂 卓也			
栃木県議会議員	西村 しんじ	日本勤労者山岳連盟事務局長	川崎 高志			
栃木県議会議員	松井 正一	衆議院議員務台俊介事務所秘書	佐藤 帯刀			
那須町議会副議長	三上 公博	株式会社タベイ企画	田部井 政伸			
(公社)栃木県観光物産協会会長	新井 俊一	全国山の日協議会事務局長	手塚 友恵			
西郷山岳協会会長	安治 章一	全国山の日協議会事務局	内藤 歩			
(一社)日本ウオーキング協会専務理事	井上 成美	日本勤労者山岳連盟会長	西本 武志			
那須山岳協会会長	大森 基男	日本山岳ガイド協会	望月 佳子			
栃木県ウオーキング協会会長	小栗 正光	日本山岳会前会長	森 武昭			
栃木県山岳遭難防止対策協議会会長	小島 守夫	栃木県総合政策部長	北村 一郎	五葉松		
(株)下野新聞社代表取締役社長	岸本 卓也	栃木県産業労働観光部長	香川 真史			
(株)下野新聞社常務取締役	飛田 博通	栃木県国土整備部長	江連 隆信			
(一社)那須町観光協会会長	廣川 琢哉	栃木県産業労働観光部参事	永井 洋之			
栃木県勤労者山岳連盟会長	増田 俊雄	栃木県県民生活部広報課長	野原 恵美子			
(公社)日本山岳会 栃木支部支部長	渡邊 雄二	栃木県産業労働観光部観光交流課長	鈴木 英樹			
黒磯山岳協会会長	渡部 逸郎	栃木県山林種苗緑化樹協同組合理事長	荒井 憲志			
那須町商工会会長	薄井 正明	くまの木里山応援団長	市川 貴大			
那須町森林組合代表理事組長	薄葉 健一	埼玉県農林部森づくり課長	岡 真司			
那須町小中学校校長会長	薄葉 保夫	松本市商工観光部長	川上 正彦			
那須山岳救助隊長	大高 登	(有)高見林業代表取締役	齋藤 正			
那須町温泉保護開発協会副会長	片桐 俊輔	(公社)とちぎ環境・みどり推進機構理事長	佐藤 崇			
那須町老人クラブ連合会会長	高久 巻江	富士宮市環境部長	佐野 一也			
那須温泉神社宮司	人見 昇三	静岡県自然保護課長	繁村 光良			
那須野農業協同組合代表理事組長	屋代 重夫	静岡県くらし・環境部部長代理	鈴木 亨			
那須町女性団体連絡協議会会長	吉田 文枝	(株)エフエム栃木代表取締役社長	関根 房三			
(株)足利銀行県内支店長	稲村 数義	ふるさと高原山を愛する集い実行委員会副会長	谷畑 方夫			
(株)神戸製鋼所電力事業部門企画管理部担当部長	稲本 勝也					
サッポロビール(株)関信越本部長	岩崎 智史					
(株)マーケットネットワーク常務取締役	大森 繁樹					
キリンビール(株)栃木支社長	笠原 賢一					
サントリーホールディングス(株)CSR推進部	岸本 直人					
(株)とちぎテレビ代表取締役社長	黒内 和男					
那須未来(株)管理課長	斉木 秀夫					
(株)足利銀行取締役	島田 博夫					
(株)足利銀行地域振興部長	関野 和則					
東京ガス(株)宇都宮支社長	堀内 忠					
サントリーホールディングス(株)CSR推進部チーフスペシャリスト	山田 健					

※テーブル「茶臼岳」「五葉松」以外は五十音順

【3】会場図

ホテル エピナール那須 2F 宴会場「葵の間」



【4】メニュー

洋食

- 〔冷製〕 テリーヌ&生ハム&郡司豚のキャラメル焼&今牧場のチーズ盛り合わせ、
栃の木黒牛のコールドビーフ、那須産夏野菜とシーフードのラビゴットソース和え、
完熟トマトとあまたにチーズ工房のフレッシュモッツアレラチーズのカプレーゼ
- 〔温製〕 ジョセフィンファームのグリーンアスパラ炭火焼、
栃の木黒牛&那須三元豚&グリルチキン、地場産新鮮野菜の付け合せ

和食

天婦羅（地元農家畠山さんの野菜など）、高原野菜寿司、鮪山掛け・ヤシオマスジュレ掛け、
こたろうファームのトマト甘酢漬け、鮎の塩焼き、プレミアムヤシオマスの彩焼き
地元農家畠山さんの枝豆& 辻岡さんの白いとうもろこし

中華

郡司豚の薄切りにんにくソース薄切り胡瓜添え、まる湯葉の葱薺ソース
ヤシオマスと湯葉の広東風重ね蒸し、御養鶏の焼売

デザート

パティシエ特製デザート、ホテルメイドパン各種

ドリンク

酒類：キリン一番搾り栃木に乾杯、サッポロ黒ラベル、
那須高原ビール 愛 ほか
ソフトドリンク各種



ジョセフィンファームのグリーンアスパラ炭火焼



高原野菜寿司



郡司豚の薄切りにんにくソース薄切り胡瓜添え



ヤシオマスと湯葉の広東風重ね蒸し



鮪山掛け・ヤシオマスジュレ掛け



鮎の塩焼き



パティシエ特製デザート

2.記念式典 (8月11日)

【1】概要

1 記念式典

「五感で満喫!とちぎの山」をテーマに、鳥瞰映像により視覚的に山々を体感していただき、山に深く関わる人々による山への感謝のメッセージに耳を傾け、「とちぎの」山の魅力を五感で満喫していただける記念式典を開催しました。

- 開催日時 平成29年8月11日(木)午前9時15分から午後11時まで
- 会場 那須町文化センター 大ホール
- 出席者 約900名(招待者 約390名、一般公募 約390名、関係者 約120名)



フリーアナウンサーの福嶋真理子さんに司会を務めていただきました。

- 服装 記念式典では、来賓や実行委員会構成員等の参加者全てが山との親和性に配慮した服装とすることで、会場内の一体感を演出しました。

服装の目安	
上	カジュアルシャツ (半袖又は長袖)、 Poloシャツなど
下	カジュアルズボン (長ズボン)
足下	靴 (スニーカー、トレッキングシューズなど)

【5】木遣歌・時庭の神楽・千枚梵天・記念品

1 「木遣歌」(鳶木遣保存会)

木遣は、重い材木や石材などを運ぶときに歌われる作業歌です。言い伝えによれば、宇都宮の鳶木遣は3代将軍徳川家光による日光東照宮の造営と関係が深く、全国から集められた大工や塗師などが、冬の間、宇都宮などに滞在させられていました。この時、彼らの間で歌われていた木遣が宇都宮の職人に伝わり、独特な節回しも加わって、現在まで受け継がれていると言われています。



2 「時庭の神楽」(那須町時庭神楽保存会)

時庭の神楽は言い伝えでは、江戸時代の終わり頃、時庭在住の者がお伊勢参りの帰途、宇都宮に立ち寄り、有志と相談して獅子頭を買い求めたことが始まりと言われています。火伏せ御祈祷や五穀豊穡を願い、毎年2月24日の祭礼には、地元有志が時庭地区内の各家を回るなど、現在まで受け継がれています。



3 「千枚梵天」



本大会の成功を願う那須高原湯本ガイドクラブ様より、「千枚梵天」が寄贈され、会場に飾らせていただきました。「千枚梵天」とは、江戸時代から昭和20年頃にかけて、茶臼岳を山岳信仰の霊場として「高湯山信仰」が盛んに行われ、毎年4月8日の「山開き」、8月8日の「山じまい」には近郷の集落ごとに人々が梵天を担いで五穀豊穡・無病息災・山の安全を祈願し参拝したと言われています。

4 記念品



レセプションに出席した招待者に、地元那須町産の記念品が渡されました。

- シュトーレン(那須高原南が丘牧場)
- ガーンジィゴールデンミルクジャム(那須高原南が丘牧場)
- 牧場農園のいちごジャム(りんどう湖レイクビュー)
- 那須いろハーブティー(那須いろ野菜)

【2】プログラム

項目	時間	概要	
ウエルカム演奏	8:30	栃木県警察音楽隊	
プロローグ	山鐘「8点鐘」	点鐘者：栃木県副知事 赤松 俊彦	
	郷土芸能	「白面金毛九尾狐太鼓」	
式典	登壇者紹介	司会：フリーアナウンサー 福嶋 真理子	
	開会のことば	実行委員会顧問 超党派「山の日」議員連盟会長 衆議院議員 衛藤 征士郎	
	国歌斉唱	9:36	
	主催者あいさつ	9:38 実行委員会会長 栃木県知事 福田 富一	
	歓迎あいさつ	9:42 実行委員会副会長 那須町長 高久 勝	
	来賓あいさつ	9:48 環境大臣 中川 雅治	
	メイン アトラクション	9:51	ナビゲーター：女優 小林 綾子
		9:55	【第1章：映像】 オオルリの飛翔
		9:59	【第2章：演劇】 五感で満喫「とちぎの山」 ～父と娘の山登り～
		10:08	【第3章：メッセージ】 山へ感謝のメッセージ
	リレーセレモニー	10:18	次期開催地へ「山の日帽」を引き継ぐ 次期開催地 鳥取県知事 平井 伸治 米子市長 伊木 隆司 大山町長 竹口 大紀
10:11			【フィナーレ】「山はふるさと」大合唱 出演：歌手 加藤 登紀子 那須野が原少年少女合唱団
エピローグ	山の日コンサート	10:25 出演：歌手 加藤 登紀子	
	山の日メッセージ	10:50 出演：那須町内小中学生 栃木県内ボーイスカウト・ガールスカウト	
	山鐘「11点鐘」	10:55 点鐘者：那須町副町長 山田 正美 黒田原小学校6年生 渡辺 小桜	
	閉会のことば	10:57 実行委員会副会長 栃木県議会議長 小林 幹夫	
	閉会	11:00	

【3】式典前アトラクション

開会前に栃木県警音楽隊のウエルカム演奏により来場の皆様をお迎えしました。



プロローグ

山鐘(さんしょう)「8点鐘」

「鐘」は、古くから登山者にとって山小屋の場所を知らせる安らぎのものであり、明日への意欲をかきたてる力の源となっています。

第2回「山の日」記念全国大会の開催にあたり、改めて山や山に関わる人々に思いを巡らし、山への感謝の気持ちを持ちたいと願い、1回ずつ意味を込めながら開会時に8回、閉会時に11回の鐘を鳴らしました。

「山鐘」に込める思い

- 第1山鐘 山の日誕生を祝う思い
- 第2山鐘 山に親しむ機会を得ることへの思い
- 第3山鐘 山、その恩恵に感謝する思い
- 第4山鐘 山を慈しみ労わり活かす思い
- 第5山鐘 水や木など山の恵みを大切にする思い
- 第6山鐘 花や鳥、蝶など山に棲む生き物たちを大切にする思い
- 第7山鐘 山を愛する人への思い
- 第8山鐘 山で亡くなられた方々への思い

[点鐘者] 赤松 俊彦 (栃木県副知事)



【4】郷土芸能「白面金毛九尾狐太鼓」

那須町に伝わる「九尾の狐伝説」にまつわる郷土芸能「白面金毛九尾狐太鼓」の力強い演奏が披露されました。



【5】登壇者紹介

来賓

来賓を代表し、以下の2名の方に登壇していただきました。

中川 雅治 環境大臣
沖 修司 林野庁長官



(写真左から)

実行委員会委員

実行委員会を代表し、以下の6名が登壇しました。

顧問	衛藤 征士郎	超党派「山の日」議員連盟会長
会長	福田 富一	栃木県知事
副会長	高久 勝	那須町長
//	小林 幹夫	栃木県議会議長
//	松沢 哲郎	全国山の日協議会副会長
//	浅香 達夫	栃木県環境森林部長

(写真右から)



【6】開会あいさつ

第2回「山の日」記念全国大会実行委員会顧問

衛藤 征士郎

超党派「山の日」議員連盟会長

衆議院議員



第2回「山の日」記念全国大会 in 那須 2017 の式典をただいまから開会いたします。

御案内のとおり、中川雅治環境大臣をお迎えし、沖林野庁長官、さらに多くの皆様を全国津々浦々からこの会場にお迎えいたしました。本日お集まりの皆様方は、正にそれぞれの地域におけます山関連等々の第一線で活躍されているサミットの皆様ばかりであります。

私ども「山の日」議員連盟は超党派の国会議員で構成されておりまして、この議連の事務局長は務台俊介代議士であります。また、議連の幹事長は丸川珠代前環境大臣でございます。

私たちは山の日を国の祝日にすべく、議員連盟を作りまして努力をいたしました。そして、本日御列席の皆様方の力強いバックアップのもと、平成28年1月1日に、山の日が施行され、昨年8月11日、第1回山の日記念式典全国大会が長野県上高地で開催されました。すばらしい大会でありました。

本日、第2回の記念大会がここ那須で開催されます。極めて意義深いことだと思います。山の日には山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日であります。私ども議連としましては、21世紀の主役である子どもたちが、私の夢、僕の夢をふるさとの山に重ね合わせながら元気に頑張っている。その彼らの夢を必ずかなえてあげるために、大自然の根源である、ふるさとの山をしっかりと守っていく、という我々の夢があったわけでありまして。

また、先進諸国の大統領、首相が集まった国際会議のことを先進国首脳会議、サミットと言いますが、サミット、つまり日本語で言えば、山々の連なった姿、連峰であります。本日、正に全国津々浦々の地域社会におけるサミットの皆様方が、この会場にお集まりになられている訳です。

先ほど小林県議会議長とお話しをさせていただきました。「できればこれから山の日を記念して臨時県議会を山の中でやっていただけませんか」と話しをしたところではありますが、都道府県議会あるいは市町村議会が、臨時の議会をこの山の日を記念して本当に山で行われればなどと思っています。

私たちの夢は、少年少女たちが小学校を卒業するまでに、必ずふるさとの山に登り、ふるさとの山から美しいふるさを眺め、さらには雲の向こうの遠い遠い世界に思いを馳せていただきたいということでもあります。

本日は第2回山の日全国大会がありますが、この大会が来年の大切なサミットに、そして、記念全国大会に連なっていくことを確信しております。

結びに、今日ご列席の皆様方の、全ての皆様方の山に対する熱き思い、深き思いに敬意を表し、感謝を、御礼を申し上げまして、第2回「山の日」記念全国大会 in 那須 2017 の式典開会のあいさつといたします。本日はありがとうございました。